

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市中之口テニスコート				
管理者名	株式会社新潟ビルサービス	指定期間	平成27年4月1日	～	平成32年3月31日
担当課	西蒲区地域課				
所在地	新潟市西蒲区中之口295番地				
根拠法令	スポーツ基本法				
設置条例	新潟市体育施設条例				
施設概要	敷地面積 2,391.00㎡ 主要設備 全天候型ハードコート2面, ナイター設備(9基, 約250Lx)				

施設設置目的	
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。	
管理・運営に関する基本理念, 方針等	
(1)新潟市体育施設条例(以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	広報の充実	ホームページに指定管理施設全体での情報及びブログを月1回以上更新	HP・FB毎日更新	A	毎日更新されており、評価できる。
	基準利用者数の達成	利用者数年間100人以上	155人(対目標155%)	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が60%以上	83%	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には10日以内に回答	ご意見ボード設置。即日回答掲示。	B	

財 務	市の歳入の増加	使用料収入を年間30千円以上（免除料金含む）	84,080円 (対目標280%)	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	他施設との連携に対する理解	他施設との連携会議を年4回以上開催	指定管理者会議4回開催	B	
業 務	人員計画の合理性妥当性	業務基準書の人員確保	確保している	B	
	日常連絡の適切さ	各種報告書の提出期限厳守及び業務基準書に定められた報告内容の適切さ	適切に処理	B	
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なもの即日時間を要するもの1週間以内に改善対応	迅速に対応	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上	6月・7月・12月	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修年1回以上実施	4月に1回実地	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	補償を伴う事故発生件数0件	0件	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
	人 材	配置人員条件の充足	業務に必要な資格又は専門知識、経験を有する職員の配置	適切に配置	B
配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度		職員研修を年1回以上実施	6月・12月	B	
労働基準の充足		労働関係法令の遵守	遵守している	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

これまで様々な施設で得たノウハウと、平成27年の1年間の管理・運営で得た中之口地域の特性を理解し、運営した結果が、利用者数対目標118%、や使用料収入の対目標280%につながり、多くの市民の皆様にご支持された結果と自負しております。各種業務においても仕様書以上に誠実に実施し、安心・安全な施設を提供いたしました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

当施設の指定管理は2年目を迎えたが、大きなトラブルもなく安心・安全な管理運営を行っていただいた。
平成29年度も昨年度と同様に、安心・安全な管理運営を行っていただくとともに、アンケートや利用状況などの基礎データの分析を行うことで、より利用者へのサービスが図られることを期待します。